



STAY: エースホテルが京都にやってきました!

エースホテル京都

今年4月、隈研吾デザイン監修による〈新風館〉の中にオープン。インテリアを手がけたのはコミュニケーション・デザイン。植木沙弥郎など作家や職人とのコラボがそこそこに (p.58)。

photo_Satoshi Nagare

2020: a kyoto odyssey

STAY

京都はホテルの開業ラッシュです。

京都には築100年を超える町家など古くからの建築が残り、少し郊外に行けば緑豊かな自然があふれています。古都ならではの特徴を生かした新しいホテルが、続々とオープン中。

エースホテルが ついに京都に上陸!

京都の歴史的建造物を活用した複合施設(新風館)に、今年4月、ついに(エースホテル京都)が開業します。建築的な見どころや客室の様子を、ひと足早くレポート!

photo_Satoshi Nagano
text_Katsumi Hiratsuka

エースホテル京都

Ace Hotel Kyoto

MAP B c-2

京都市中京区姉小路通東洞院西入ル車屋町245-2
☎075・229・9000
全213室
開業特別料金1泊1室30,000円~予定。
<https://www.acehotel.com/kyoto/>

2020年4月16日開業。建築デザイン監修：隈研吾建築都市設計事務所、インテリアデザイン：コミュニケーション・デザイン。客室の他3つのレストランと付随するバー、コーヒーショップなどを推す。写真は「たみスイート」。



1 歴史的建築のつくりを生かした「エーススイート」。塔をモチーフとするアートは、柚木沙弥郎によるもの。カーテンは〈ミナベルホネン〉。ペンダント照明はイサム・ノグチ。
2 1階ロビー天井。隈研吾が設計した木組みとコミュニオンが提案した照明が融合する。3 〈ミナベルホネン〉のテキスタイルを使用したベッドサイドの照明。4 アーチ型の窓が特徴的な「ヒストリックツイン」。保存棟の客室はとくに天井が高く開放的な空間。5 1階エレベーターホール。突きあたりの作品はヒステリックグラマーの北村信康が手がけた。



6 エースホテルにとって重要な「音楽」を象徴するレコードプレーヤーが客室に。
7「クリエイティブな場所になりたい」と語るニコラス・ブラック総支配人。

といっても作品のあしらいはあくまでカジュアル。エース名物のレコードプレーヤーやギターと同じ距離感で、和紙のスタンド照明や信楽焼のサイドテーブルといった繊細なアイテムが並ぶ。

客室はすべて30㎡以上と広め。保存棟の客室ではアーチや出窓が連なる個性的な空間を堪能できる。今や国産ホテルでも珍しい布団を上げ下げして使う「たみみスイート」や出窓の形を生かして家具を特注した「エーススイート」など、ひとくせある客室も。パリエーションに富んだ構成なので、どの部屋に泊まるか選ぶのも楽しい。

「国際的な人々が集まり、創造的な経験ができる場になりたい」と言うニコラス・ブラック総支配人。京都を拠点にエースのカルチャーがまた、育まれていく。

和洋の意匠とカルチャーが融合する、創造的空間。

ホ

テル建設ラッシュの京都に「切り札」が到来。4月16日、ついに「エースホテル京都」が開業を迎える。エースホテルは1999年シアトルに誕生。昨年までに北米とヨーロッパ9都市にホテルを展開する。特徴は高層度だけじゃなく、サアルで、遊び心に満ちた空間とサービス。宿泊客以外がロビーにたむろすることを許容し、ホテルを導くための場所から、人々が集う文化創出のハブへと変えた。

アジア初進出にあたり、なぜ京都が選ばれたのか？ 理由のひとつは大正時代に生まれた〈旧京都中央電話局〉との出会いだった。エース創業者の一人である故アレックス・カルダーウッドはかつて本誌の取材に「土地の要素とコラボしたいから（ホテルの場所選びは）建物が決まってくる」と答えている。ブルーノ・タウトにも認められた建築家、吉田鉄郎が設計し、電話局の役割を終えた後もカルチャーの発信地として親しまれてきた京都のランドマーク〈新風館〉。このたびNTT都市開発が再開発プロジェクトを立ち上げる中、建築デザイン監修を隈研吾が、インテリアデザインをエースの長年のパートナーであるL&Aのデザイン集団コミュニオンが担当するという強力な布陣で、「エースホテル京都」の空間は構築された。

エースホテルがこれまで必ず行ってきたのが、地元クリエイターとのコラボレーションだ。京都でも「Last Bed & Breakfast」をコンセプトに、97歳の染色工芸家・柚木沙弥郎によるアートワークが全213室に設置されるなど、作家や職人の仕事がかさねて存在する。